



大学理念「違いを共に生きる」の実現をめざし、「ダイバーシティ共生センター」が開設



Interview

ダイバーシティ社会を安心して生きる力、人生をとおして貢献する力を培う

「違いや多様性と聞くと「自分には関係ない」と思う人も少なくないかもしれません。しかし、私たち一人ひとりには違いがあるからこそ特別な存在です。皆さんにはダイバーシティを自分のことと捉えて、仲間と積極的に関わりながら主体的に考え、行動してほしいと思います。「違うけど受け入れる」といった上から目線でも、「皆と同じようにならなくては」という同調でもなく、自他の違いをそのまま認め合い、尊重し合うことを学びましょう。しかし、悪意や無意識の攻撃によって、違いを認め、共に生きることが難しい場合もあります。お互いに安全で適度な距離をとる力、適切な人や場所にSOSを求められる力をつけ、自他を守るという選択をして生きる術も必要です。本センターが、「違いを共に生きる」という大学理念を伝え、広げていくと共に、支援を通して誰もが安心して生きやすい社会の実現と、その社会に人生をとおして、貢献していく力を培っていく場になればと願っています。



谷口 純世センター長

日々の学修や生活にダイバーシティの学びを活かせる橋渡しを

学生と教職員が一体となってダイバーシティについて考え、語り合える施設ができたことを嬉しく思います。今や社会はダイバーシティ時代。「違いを共に生きる」がますます意味を帯びる時だと思っています。私の研究分野である「多文化共生」を例にとると、現代、少子高齢化や人口減少による人手不足で、外国人材の労働力が不可欠となっています。在留の長期化により、地域社会には、外国籍住民だけでなく、日本生まれ・日本国籍の外国ルーツを持つ人も増えています。多様な言語的・文化的な背景を持つ人々との共生が全ての人に求められています。ダイバーシティへの理解を深めることは、これからの人生を自分らしく豊かに生きていく力となるはずです。センターで自分の個性を活かしながら話し合ったり、活動するなど、まずは自らダイバーシティの学びを楽しんでほしいと思います。本センターの支援が、皆さんの専攻分野の学修や地域社会での貢献への橋渡しになるよう尽力していきます。



鈴木 崇夫先生

2024年4月、「ダイバーシティ共生センター(DISC)」が長久手キャンパス11号棟1階に開設されました。

学生・教職員一人ひとりが、多様性を認め合い、 尊重し合って生きる力を身につけるための 多角的な支援をめざしています。



男女共同参画社会の実現に向け、1994年4月に開設された「ジェンダー・女性学研究所」が活動・支援の幅・内容の広がり・深まりをもって2024年4月、新たに「ダイバーシティ共生センター」として生まれ変わりました。年齢、性別、国籍、文化、言語、病気や障害の有無、育った環境など、多様性(ダイバーシティ)への気づきと学びを深める場として、長久手キャンパス11号棟1階に開設。「共生支援」と「学修支援」の2つの取り組みを軸に、関係部署と連携しながらダイバーシティの実現を目指す活動についての相談や活動の支援、ダイバーシティに関する学修への支援などを提供しています。

1年次の必修科目である基幹科目から演習科目まで、「ダイバーシティ共生プログラム」で体系的に学ぶことで、人にはさまざまな違いがあることに気づき、学ぶ機会をもつことができます。そして、学生企画チームによる身近な違いを共有する企画、「多文化共生」や「災害時支援」におけるダイバーシティを切り口とした学内外での「体験学習会」の実施など、学生や教職員が主体的に行動し、その体験から能動的に違いを尊重し合う環境があります。

こうした活動を通し、大学の理念である「違いを共に生きる」を具現化すると同時に、多様性を尊重する社会の実現に人生をとおして貢献できる人材の育成に寄与していきます。

ダイバーシティ共生センター

ダイバーシティ共生支援

「自分らしく生きる」を支援

学生・教職員に対する共生支援

- ダイバーシティの実現に関する相談の受付
- ダイバーシティの実現に関する活動への支援 など

ダイバーシティ学修支援

ダイバーシティに関する学修を支援・促進

ダイバーシティに関する全学教育

- 基幹科目「違いを共に生きる・ライフデザイン」の運営
- ダイバーシティ共生プログラムの提供

学生・教職員に対する学修支援

- 学生・教職員のダイバーシティ学修の支援・促進
- 体験をとおしてダイバーシティに気づき、学ぶ学内外の「学習会」の実施
- 図書等の閲覧・貸出 など

関係部署との連携

ダイバーシティ共生プログラム

ダイバーシティ演習科目

「ダイバーシティ研究法演習」など

ダイバーシティ基礎科目

「大学生のためのダイバーシティ入門」
「日常生活とダイバーシティ」など
(学部・センター提供科目含む)

基幹科目

「違いを共に生きる・ライフデザイン」

* このほか、各学部のダイバーシティに関連する科目を受講することができます

ダイバーシティについて学んだことを証明する **修了証・履修証明書**をDISCが独自に発行しています。